

令和5年度 事業所における自己評価結果（公表）

放課後等デイサービス

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 子ども未来サポートルームEL

スタッフ 6名

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点 改善内容、改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			必要なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	6			国の配置基準を満たした人員配置となっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6			エレベーターやバリアフリー化の設備を整えています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			月1回職員全員で会議を行い、業務について話し合いを実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			開設年度のため、現在評価実施中です。終了次第、意向の把握、改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2		4	開設年度のため、現在評価実施中です。終了次第ホームページにて公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		2	外部評価は、毎月の会議で行っています。結果は、議事録で職員に周知しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			様々な研修の機会を設けています。今後も職員の資質向上のため研修の機会を確保していきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			児童の情報(発達状況、特性、ニーズ、課題等)を保護者より聞き取り、職員間で把握、客観的に分析した後、個別支援計画を立案しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		検討中です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			職員からの意見や工夫など盛り込みながら、立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			運動療育では、毎月運動プログラム変更しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	1	平日、休日、長期休暇毎ではなく、毎月毎にプログラムを決めています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成している	6			個別療育、小集団での療育を組み合わせで行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			支援開始前に支援内容や役割分担を職員間で確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		2	その日の支援内容や児童の様子等の情報交換を必要に応じて行っています。また記録し、職員間で共有できるようにしています。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			毎日、児童の様子や支援内容の記録をとっています。

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点 改善内容、改善目標
	18 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6			3ヶ月、6ヶ月毎にモニタリング、評価を行い、会議の中で話し合いを行っています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4		2	ガイドラインに沿って支援を行うように心がけています。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			支援に関わる職員に児童の情報を聞き取り参画しています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			必要な情報共有や連携を行っています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1		5	現在、医療ケアが必要な児童の利用はありません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	3	現在は行っていませんが、連携の必要な場合は、情報共有を行っています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	1	4	今年度開所したばかりのため、まだ対象児童はいませんが、情報提供できるようにしています。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		他施設と連携し、助言をいただくこともあります。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	2	活動する機会はないですが、イベントでの交流機会はあります。今年度開所したばかりのため今後検討していきます。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	2	今年度開所したばかりのため、今後検討していきます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			常に事業所での様子や状況等を伝えるようにしています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5		1	家庭での困り事や対応の仕方等アドバイス、助言を必要に応じて行っています。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時などに分かりやすい説明をするように心がけています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			悩みや相談があった場合には、それぞれの職員が耳を傾け対応しています。専門職からのアドバイスや助言等を行っています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	2	今年度開所したばかりのため、今後検討します。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		3	現在の所、苦情は聞かれていません。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			会報は発行していませんが、活動内容や行事予定を毎月HUGシステムにて発信しており、保護者が閲覧できるようにしています。
	35 個人情報に十分注意している	6			書庫は鍵付きの物を使用し、個人情報の取り扱いには十分注意をしております。

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点 改善内容、改善目標
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			情報伝達に関しては、それぞれの児童や保護者に合わせて様々なツールを使用する等、配慮しています。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	2	今年度開所したばかりのため、今後検討していきます。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		2	発生を想定した訓練を行っています。今後も実施予定です。 マニュアルについては作成はしていますが、保護者に周知して頂けるように閲覧出来るようにする等検討します。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			定期的に訓練を実施しています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			研修に参加しています。研修を受けた後、内容など研修報告を行い職員全体に周知しています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	1	4	職員間で話し合いを行い、現在策定中です。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	3	事業所からの食事やおやつを提供なし。アレルギーについては把握しています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		2	事例集はありませんが、報告書の作成は行っています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。